

1. 科目名（単位数）	社会・集団・家族心理学（家族）／家族心理学（2 単位）	3. 科目番号	PSMP3360 EDPS3307
2. 授業担当教員	石川 美智子		
4. 授業形態	講義および演習・ディスカッション・グループ発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	人間は生涯を通じて他者との中で生きて行く。その最も身近な人間関係の中の一つに「家族」がある。本講義では、家族システム理論を始めとする家族を理解するための鍵概念を解説し、①家族のライフコースと発達、②家族内（夫婦、親子、兄弟姉妹など）の心理構造、③家族療法の概要、④家族・集団及び文化が個人に及ぼす影響について学びます。講義による解説とディスカッション・グループ発表を通じ、人が成長していくうえで重要な役割を持つ家族の心理に関して理解を深め、日常生活の場で起きている家族の諸問題を考察し、受講生にとっての家族観の再考を促すことを目的としています。		
8. 学習目標	家族心理学が終了した時点で下記目標達成をすることが期待されます。 1. 家族の在り方と家族メンバーの心理的ウェルビーイングとの深い関係を理解し、説明できるようになる。 2. 家族の発達とともに起こりうる諸問題について指摘できるようになる。 3. 家族心理学の理論と実践の違いを理解し、説明できるようになる。 4. 家族臨床の歴史と近年の主たる理論とアプローチについて、説明できるようになる。 5. 家族・集団・文化が相互作用的に個人に及ぼす影響を具体的に説明できるようになる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポート課題	1. アサイメント：各単元の教科書の範囲をグループでまとめ、概要を発表する。 2. レポート課題は次の2つのテーマについて先行研究をもとに考察する。 課題1：家族の発達段階には家族の成立期から老年期の発達段階までであるが、その一段階を取り上げ、家族の健康な発達を妨げる諸要因に関して、先行研究をもとに考察しなさい。 課題2：現代の一般的家族の各メンバーが彼らの家族はうまく機能していると感じる背景にはどのような要因があるか。また、今後の家族の価値観はどのように変化していくのか。先行研究等をもとに考えをまとめなさい。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・武藤清子著『家族心理学』有斐閣ブックス、2019 年。 【参考書】柏木恵子著『家族心理学』東京大学出版会、2003 年。 秋山邦久著『臨床家族心理学』福村出版、2003 年。		
11. 成績評価の基準と 評定の方法	○成績評価の基準 1. 家族心理学の主要な理論に関する哲学的背景・歴史的背景を理解し、家族の発達過程を説明できるか。 2. 家族療法の概念・理論を分かり易い言葉で具体的に説明ができ、問題解決法を提示することができるか。 3. 家族・集団・文化が相互作用的に個人に及ぼす影響を具体的に説明できるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度（ディスカッション、課題、発表）、日常の受講態度等を総合して評価する。 1 平常点（授業への積極的参加・日常の学習状況） 総合点の 50％ 2 まとめ課題（期末試験・課題レポート・テスト） 総合点の 50％		
12. 受講生への メッセージ	本講義の目的を達成する為に、日常生活の中で、近年起きている家族に関係する様々な問題に目を向け、多くの疑問を講義の中で議論していただきたいと思います。また、学習意欲を高める教育環境づくりとして次のことに注意してください。 1. シラバスに示される学習範囲は、授業前に必ず予習して来てください。 2. アサイメント・レポートの提出期日は厳守してください。		
13. オフィスアワー	第一回講義にて提示する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション：シラバスの説明と教科目標に関して 家族とは何か：家族システム理論	事前学習	テキスト第 1 章（pp. 3～20）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 1 の作成とレポート 1 の準備。
第 2 回	家族とは何か：家族を理解するための鍵概念；家族・集団・文化の相互作用	事前学習	テキスト第 2 章（pp. 21～38）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 2 の作成とレポート 1 の準備。
第 3 回	家族の発達：独身の若い成人期	事前学習	テキスト第 3 章（pp. 41～59）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 3 の作成とレポート 1 の準備。
第 4 回	家族の発達：結婚による家族の成立期	事前学習	テキスト第 4 章（pp. 61～78）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 4 の作成と提出
第 5 回	家族の発達：乳幼児を育てる段階	事前学習	テキスト第 5 章（pp. 79～96）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 5 の作成とレポート 1 の準備。
第 6 回	家族の発達：小学生の子どもとその家族	事前学習	テキスト第 6 章（pp. 97～112）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 6 の作成とレポート 1 の準備。
第 7 回	家族の発達：若者世代とその家族	事前学習	テキスト第 7 章（pp. 113～130）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 7 の作成とレポート 1 の準備。
第 8 回	家族の発達：老年期の家族：老いを迎える家族	事前学習	テキスト第 8 章（pp. 131～153）の内容をまとめる。
		事後学習	レポート 1 の作成と提出
第 9 回	家族と臨床的諸問題：家族への臨床的アプローチ	事前学習	テキスト第 9 章（pp. 157～172）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 9 の作成とレポート 2 の準備。
第 10 回	家族と臨床的諸問題：夫婦関係の危機と援助	事前学習	テキスト第 10 章（pp. 173～191）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 10 の作成とレポート 2 の準備。
第 11 回	家族と臨床的諸問題：子育てをめぐる問題と援助	事前学習	テキスト第 11 章（pp. 193～214）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 11 の作成とレポート 2 の準備。

第 1 2 回	家族と臨床的諸問題：発達障害と家族支援	事前学習	テキスト第 12 章（pp. 215～230）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 12 の作成とレポート 2 の準備。
第 1 3 回	家族と臨床的諸問題：家族が経験するストレスと援助	事前学習	テキスト第 13 章（pp. 231～249）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 13 の作成とレポート 2 の準備。
第 1 4 回	家族と臨床的諸問題：家族の中のコミュニケーション	事前学習	テキスト第 14 章（pp. 251～275）の内容をまとめる。
		事後学習	課題 14 の作成とレポート 2 の準備。
第 1 5 回	家族と臨床的諸問題：女性と家族；家族・集団・文化の相互作用 家族と臨床的諸問題：男性と家族；家族・集団・文化の相互作用	事前学習	テキスト第 15-16 章（pp. 277～292）の内容をまとめる。
		事後学習	レポート 2 の作成と提出。